

都市の木質化セミナー／都市の木造化へ向けた担い手セミナー
「臨床環境学的視点から考える都市の木質化と教育プログラム」
森林資源の持続可能性と都市の木質化に向けて
—都市の木質化の担い手を高等教育の現場でどう育てるか？—

1. 主催

名古屋大学 GCOE プログラム「地球学から基礎・臨床環境学への展開」
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

2. セミナーの趣旨

森林資源関連産業は持続可能な社会構築において非常に重要な使命を有するが、我が国においてその育成体制は十分なものとなっていないのが現状である。

森林資源関連産業を創出・育成・活性化するためには都市の木質化が必須であり、そのための人材育成が求められる。現在、都市の木質化あるいは木造化を巡る動向は非常に急速であり、学術的にも法制的にも目覚ましい発展の途上にある。したがって、高等教育の現場では、旧来からのカリキュラムを見直し、現在の木造建築に対応できる人材を育成する必要がある。さらに、真の担い手となるためには、建築学、林学、林産学（木材科学）、地域再生学など多様な分野を横断的に理解し、そこから新たな発想を創造していくことも重要である。

本セミナーは、現在日本各地で行われている新しい教育プログラムの実践例について学ぶとともに、都市の木質化の担い手育成に関して、①最先端の技術と将来像の創造、②既存の専門分野・教育機関で取り組むべき教育、③これらの枠組みを越えた教育プログラムの展開、④社会人教育、⑤実践教育、⑥市民教育の観点から、産官学および市民が相互に意見交換・課題共有することを目的とするものである。

3. 想定参加者

高等教育機関（大学・高専など）、高校の教員、森林・木材関係者、建築関係者、行政、
木材学会教育委員会、木活協（主催）ほか（詳細は別紙参照）

4. 日程

2014年1月27日 13時～18時

5. 場所

名古屋大学野依記念学術交流館 1階

6. セミナープログラム（別紙参照）

7. 問合せ先

名古屋大学大学院生命農学研究科 准教授 山崎真理子

TEL: 052-789-4146, 4147, E-mail: marikoy@agr.nagoya-u.ac.jp



プログラム（予定）

Title: 臨床環境学的視点から考える都市の木質化と教育プログラム
森林資源の持続可能性と都市の木質化に向けて
ー都市の木質化の担い手を高等教育の現場でどう育てるか？ー

日時：2014年1月27日（月）13:00－18:00

総合司会：名古屋大学 教授 佐々木 康寿氏

13.00-13.15： 開会挨拶および趣旨説明

名古屋大学 教授 佐々木康寿 氏
芝浦工業大学 名誉教授 藤澤 好一氏
木を活かす建築推進協議会（㈱ 現代計画研究所） 加来 照彦 氏

13.15-14.45： 教育プログラムに関する事例紹介（順未定）：各 15 分（質疑応答，準備を含む）

1. 木材学会および東北地域での取り組み

秋田県立大学高度木材加工研究所 所長 飯島 泰男 氏

2. 九州地域での取り組み

大分大学 教授 井上 正文 氏

3. 岐阜県立森林文化アカデミーにおける教育プログラム

岐阜県立森林文化アカデミー 准教授 小原 勝彦 氏

4. 住宅医スクールの展開・木匠塾

M s 建築設計事務所 代表 三澤 文子 氏
(2007年日本建築学会賞教育賞（教育貢献）受賞)

5. 都市の木質化担い手セミナー

名古屋大学 准教授 山崎真理子 氏

6. Wood in Culture

法政大学 教授 網野 禎昭 氏

休憩（15分）

15.00-16.00： 全体討論会「森林資源の持続可能性と都市の木質化に向けて
ー都市の木質化の担い手を高等教育の現場でどう育てるか？ー」

討論参加者（一部未定）

建築系企業

住友林業（梅咲 直照氏），ウッドフレンズ（前田和彦氏），

緑の列島ネットワーク（大江 忍氏），実務（都市の木質化P Jメンバー）ほか

森林・木材系

愛知県林務課，岐阜県林務課，豊田森林組合（山田政和氏，林専務）

愛知県森林・林業技術センター（所長），東海相互木材市場（鈴木和雄氏）ほか
教育系

名古屋工業大学（藤岡伸子氏，夏目欣昇氏），名古屋大学（GCOE：竹中氏，平野氏）ほか
木を活かす建築推進協議会（㈱現代計画研究所 加来照彦氏，村山和美氏）

休憩（10分）

16.10-17.00： 講演「韓国における森林資源関連産業とその教育」

韓国 忠南大学校 教授 Seog-Goo, Kang 氏

17.00-17.10： まとめ

秋田県立大学高度木材加工研究所 所長 飯島 泰男 氏

17.10-18.00： 交流会

話題提供「欧州における機関連携型高等教育プログラム」

法政大学 教授 網野 禎昭 氏

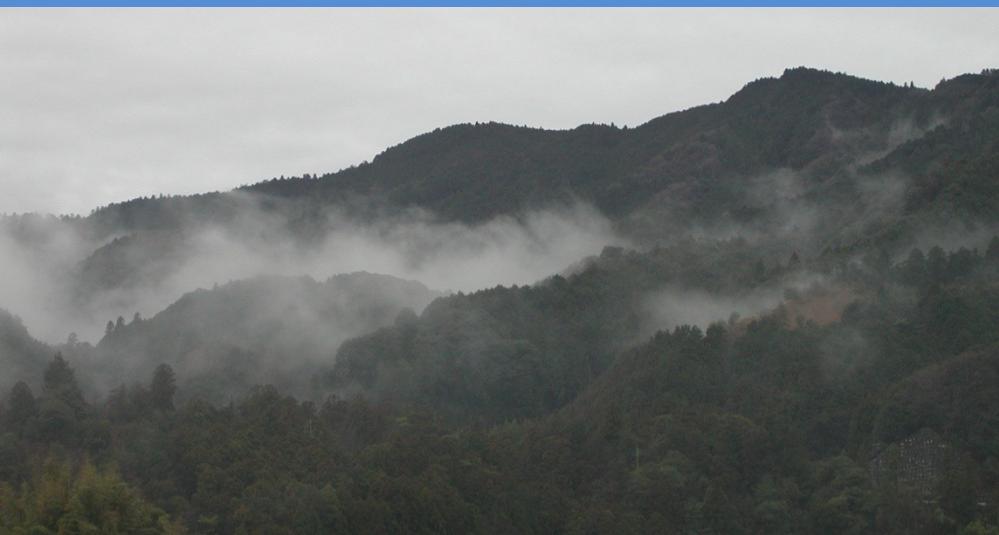
セミナー

臨床環境学的視点から考える都市の木質化と教育プログラム

日時：2014年1月27日（月）13.00-18.00

会場：名古屋大学 野依記念学術交流館

申込不要・問合せ：山崎（内線4146, 4147）



プログラム

- 13.00-13.15： 開会挨拶および趣旨説明
名古屋大学大学院 教授 佐々木康寿 氏
- 13.15-14.45： 教育プログラムに関する事例紹介
休憩（15分）
- 15.00-16.00： 全体討論会「森林資源の持続可能性と都市の木質化に向けて
—都市の木質化の担い手を高等教育の現場でどう育てるか？—」
休憩（10分）
- 16.10-17.00： 講演「韓国における森林資源関連産業とその教育」
忠南大学校 教授 Seog-Goo Kang 氏
- 17.00-17.10： まとめ
秋田県立大学高度木材加工研究所 所長 飯島 泰男 氏
- 17.10-18.00： 交流会
話題提供「欧州における機関連携型高等教育プログラム」
法政大学 教授 網野 禎昭 氏

中大規模 木造建築物等の 普及に向けて

都市の木造化へ向けたシンポジウム 担い手セミナーH25

シンポジウム &
担い手セミナー
開催スケジュール

名古屋

第1回 シンポジウム
「地域の技術、準耐火木造・木質化はどこまで可能か！」
2013年11月7日(木)

山梨

担い手セミナー
「地域の設計者・建設会社・工務店は
どう中大規模木造に取り組むか！」
10/26(土)

横浜

第2回 シンポジウム
「耐火木造による都市の木造化」
2013年12月6日(金)

広島

JBN全国大会・大規模木造分科会
「地域工務店は中大規模木造建築物市場
へどう参入するか！」
11/15(金)

東京

木のまち・木のいえフォーラム
「中大規模木造建築物の展望」
11/22(金)

東京

第3回 シンポジウム
「これからの木造建築物」
- 日本と海外の木造技術の現状とこれから -
2014年2月28日(金)

名古屋

担い手セミナー
「森林資源の持続可能性と都市の木質化
に向けて」
2014/1/27(月)

秋田

担い手セミナー
「どのように木造の担い手を地域で育てるか？」
(仮)
2014/2月(予定)

都市の木造化へ向けたシンポジウム／担い手セミナーH25

名古屋

参加無料

定員
300名

第1回 シンポジウム

「地域の技術、準耐火木造・木質化はどこまで可能か！」

2013年11月7日(木) 13:00～16:45 (開場12:30)

ポートメッセなごや 交流センター 3F 会議ホール

基調講演

「これからの中大規模木造建築物の防耐火設計」

長谷見雄二 (早稲田大学 理工学術院 教授)

事例発表

- ①杉本貴一 (住友林業(株) 住宅事業本部 木化営業部 次長)
準防火地域における木造老人ホームの計画
「矢口老人ホーム、四条畷老人ホーム」
- ②鈴木賢一 (名古屋市立大学 大学院 教授)
学校建築の内装木質化「植田東小学校等」
- ③末永治生 ((株)末永製作所 代表取締役)
高性能木工機械による木造建築物の加工・施工
- ④北澤宗則 ((株)北沢建築 代表取締役)
一般材と手刻みで挑んだ18mスパン木造架構

パネルディス
カッション

コーディネーター:加来照彦 ((株)現代計画研究所)

パネラー:長谷見雄二/杉本貴一/鈴木賢一/末永治生/北澤宗則

横浜

参加無料

定員
600名

第2回 シンポジウム

「耐火木造による都市の木造化」

2013年12月6日(金)

サウスウッド (見学会会場) 10:30～ (見学会受付10:00)

都筑公会堂(シンポジウム会場) 横浜市都筑区 12:45～16:30(開場12:15)

事例発表

「耐火木造による木造建築の流れ」

コーディネーター:五十田博 (京都大学 生存圏研究所)

- ①齋藤 潔 (齋藤木材工業(株) 木構造技術課 次長)
ボラテック本社ビル・大分県立美術館
- ②五十嵐信哉 ((株)竹中工務店 特殊架構グループ長)
サウスウッド・大阪木材仲買会館
- ③小川 浩 (鹿島建設(株) 構造設計統括グループ マネージャー) 野菜倶楽部
- ④安達広幸 ((株)シェルター 取締役 KES統括Director)
ハートホーム宮野・耐火2時間木造建築物の可能性

パネルディス
カッション

「中大規模耐火木造建築物の普及に向けて」

コメンテーター:安井 昇 (早稲田大学 理工学研究所 客員研究員)

「事例発表を受けて」

コーディネーター:五十田博 「中大規模木造の防耐火と木構造」

パネラー :齋藤 潔/五十嵐信哉/小川 浩/安達広幸

東京

参加無料

定員
300名

第3回 シンポジウム

「これからの木造建築物」

日本と海外の木造技術の現状とこれから

2014年2月28日(金) 13:00～16:30 (開場12:30)

東京大学 弥生講堂 一条ホール

基調講演

「防火設計に於ける技術的課題と今後の方向性」

安井 昇 (早稲田大学 理工学研究所 客員研究員)

事例発表

- ①田邊公彰 (メツァ・ウッド)メトロポールバラソル・E2コウヴォアプロ
ジェクト・34F高層木造
- ②清野 明 (三井ホーム 技術企画部部長)
アメリカ・カナダの最新木造建築の紹介と今後の方向
- ③腰原幹雄 (東京大学 生産技術研究所 教授)
日本におけるCLTの技術開発の現状と今後の方向
- ④李 元羽 (全国LVL協会) 日本におけるLVLの技術開発の現状と今後の方向

パネルディス
カッション

「防耐火と木構造」ー日本と海外の木造技術の現状とこれからー

コーディネーター:五十田博

パネラー :山辺豊彦/稲山正弘/腰原幹雄/安井 昇

シンポジウム
お問合せ先

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
〒107-0052 東京都港区赤坂2-2-19 アドレスビル5F
☎03(3560)2882 担当:加藤・村山

山梨

担い手セミナー

「地域の設計者・建設会社・工務店は
どう中大規模木造に取り組むか！」

■稲山・腰原・五十田による構造設計バトルトーク

2013年10月26日(土) 13:00～16:45

山梨 恩賜林記念館(甲府市)

セミナーお問合せ先 / (一社)山梨県木造住宅協会
☎055(298)4141 担当:樋口

広島

JBN全国大会・大規模木造分科会

「地域工務店は中大規模木造
建築物市場へどう参入するか！」

2013年11月15日(金) 9:00～12:00

グランドプリンスホテル広島

セミナーお問合せ先 / (一社)JBN
☎03(5540)6678 担当:坂口・藤澤

東京

木のまち・木のいえフォーラム イン東京

「中大規模木造建築物の展望」

2013年11月22日(金) 13:00～16:45

住宅金融支援機構 すまい・るホール

セミナーお問合せ先
(公財)日本住宅・木材技術センター
☎03(5653)7662 担当:松川

名古屋

担い手セミナー

「森林資源の持続可能性と
都市の木質化に向けて」

2014年1月27日(月)

名古屋大学 野依記念学術交流館

セミナーお問合せ先 / 名古屋大学
☎052(789)4146 担当:山崎

秋田

担い手セミナー

「どのように木造の担い手を
地域で育てるか？」(仮)

2014年2月(予定)

秋田県立大学 木材高度加工研究所

セミナーお問合せ先 / 秋田県立大学
☎0184(27)2056 担当:板垣

シンポジウム主催:一般社団法人 木を活かす建築推進協議会
■全シンポジウム共通/後援(予定):林野庁、国土交通省、日本木工
機械工業会、全国木材組合連合会、JBN、生活協、全建総連、
日経BP社、日刊木材新聞社、新建新聞社
■名古屋シンポジウム/後援(予定):愛知県、名古屋市
■横浜シンポジウム/後援(予定):横浜市、神奈川県
協力:横浜都市みらい
■東京シンポジウム/後援(予定)東京都

URL:<http://www.kiwoikasu.or.jp/>



平成25年度

都市の木質化

担い手セミナー

主催：名古屋大学GCOEプログラム都市の木質化PJ

共催：日本木工機械工業会，一般社団法人木を活かす建築推進協議会

協賛：錦二丁目都市の木質化PJ

第一部 2013年11月9日（土）

第二部 2013年12月～2014年1月（日時未定）

第三部 2014年1月27日

◆都市の木質化担い手セミナーとは？

現在の様々な地球環境や地域社会を取りまく問題に対して，持続的な森林環境の育成とこれを支える森林資源産業の再生，木材利用による都市空間の居住性向上は，真に豊かな社会への転換を含めて非常に大きな意義を持っている。

当セミナーは，これからの社会において，森林の再生を担う都市部における木材利用の拡充を力強く牽引できる人材の育成を目的とした教育プログラムである。

◆お問い合わせ先

名古屋大学都市の木質化プロジェクト E-mail: meidai.toshimoku@gmail.com TEL&FAX: 052-789-4147

木材を活用した街づくりの提案 —RC中層ビルのリノベーション—

●課題対象地域

名古屋市中区錦二丁目

(長者町:名古屋市の中心部にある商業地域で、繊維問屋街)

対象建物...吉田商事1F(マップは下記URLを参照)

<https://mapsengine.google.com/map/edit?mid=zgHrZH2eNYQQ.kiU-Hkk9yLD4>

吉田商事の平面図・写真は
下記URLよりダウンロード
(firestorageなら30日間有効)



●課題内容

1. 床はスギ無垢材のフローリングを前提とする(実技課題).
2. 木材の利用方法は、家具を含む内装、外装を問わない.
3. 利用する木材・木質材料は、地域で入手可能なものとする。
もし、現状でどうしても入手できない木質材料の利用を提案する場合には、その理由を挙げること.
4. リノベーション対象の空間の利用方法(間取り)も提案内容に入れて良い.

◆様々な用途に適した空間

- ・ロビーとして
- ・会議室として
- ・衣服の展示場として



◆空間に合わせた機能

- ・外からの視認性
展示場に使う場合...外から見えやすい方がよい
会議に使う場合...外から見えない方がよい など
- ・温熱環境の調整
- ・暗い内装ではなく明るい色調
- ・用途に合わせて使い方が変えられる木質インテリア



●プログラム概要

事前:参加希望者に事前に課題を通知し、個人またはチームごとに提案内容を準備

1日目(2013年11月9日(土)):バイオマス産業セミナー(建築系&機械系)

- 9:30 受付開始
- 10:00 セミナー開講(建築系&機械系)
- 10:10 基調講演「木の国日本の木つかいと森づくり」(建築系&機械系)
(京都大学大学院総合生存学館 川井秀一学館長)
- 11:20 展示会見学・箸づくり体験・昼食(建築系と機械系は別)
- 13:00 都市の木質化ワークショップ(建築系と機械系は別) ◆詳細は下記参照
各自案の披露, グループごとに提案作成, 実施設計の指導
- 16:00 成果報告会
- 16:15 まとめ(名古屋大学大学院生命農学研究科 佐々木康寿教授)
- 16:30 閉会

◆都市の木質化ワークショップの具体内容

- 13:00 講義「森林を育てる木材生産」(豊田森林組合 山田政和氏)
- 13:20 ワークショップの説明(名古屋大学大学院生命農学研究科 山崎真理子准教授)
グループ分け(3~5人/グループ × 4グループ)
- 13:30 各自案の披露, グループごとに一つの提案を作成(理念ある計画をたてよう)
- 14:30 実施設計の指導
 - ・具体的な設置方法(構造的にどうやって成立させるか)
 - ・木材の選定と木拾い(どの木をどんな風に使えば良いか, どれだけ必要か)
 - ・木材以外に必要な材料
 - ・具体的な施工方法
- 15:30 グループごとにまとめ(成果報告の内容を検討)
- 15:50 終了
- 16:00 成果報告会(建築系&機械系)

2日目(2013年12月または2014年1月を予定)

フローリングの設置 ー学生を中心とした実証実験ー

3日目(2014年1月27日(月))

シンポジウム「テーマ:森林資源の持続可能性と都市の木質化に向けて」
都市の木質化の担い手を高等教育の現場でどう育てるか?
場所...名古屋大学野依記念学術交流館 (名古屋市千種区不老町)



●講師

◆都市の木質化PJ(名古屋大学GCOE)

- ・佐々木康寿氏(名古屋大学大学院 生命農学研究科 生物材料工学研究分野・教授):セミナー総括
- ・山崎真理子氏(同・准教授):セミナー運営
- ・村山顕人氏(名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授):実技実習
- ・古川忠稔氏(名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授):実技実習
- ・山田政和氏(豊田森林組合):講義担当
- ・片岡 保氏(一級建築士@スタジオ千人塚):グループワーク担当
- ・笥 清澄氏(一級建築士@笥建築設計):グループワーク担当
- ・大橋俊夫氏(一級建築士@建築設計室 再生空間):グループワーク担当
- ・久野奈穂子(一級建築士@なな喜建築設計室):グループワーク担当

◆長者町 都市の木質化PJ:(施主&一緒に勉強)

- ・滝 一之氏(滝一株式会社)
- ・藤森幹人氏(対話計画)
- ・河崎泰了氏(竹中工務店)
- ・舟橋浩三氏(東海足袋)
- ・米津文彦氏(丹羽幸)
- ・古谷萌子氏(長者町アートアニュアル)
- ・西川早人氏(旭木の駅プロジェクト)



●URL

都市の木質化プロジェクト

<http://www.agr.nagoya-u.ac.jp/~biomeng/toshimoku/>

日本木工機械展／ウッド エコテック 2013 - 日本木工機械工業会

<http://j-w-m-a.jp/mokkiten/>

バイオマス産業セミナー

<http://j-w-m-a.jp/mokkiten/biomass/>

